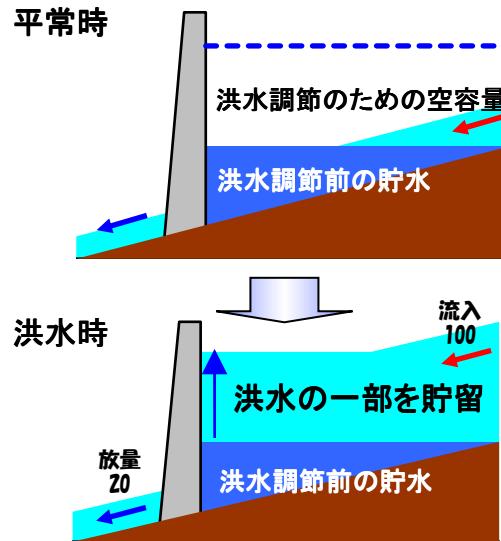


旭川ダムの洪水調節効果【秋田県】（速報）

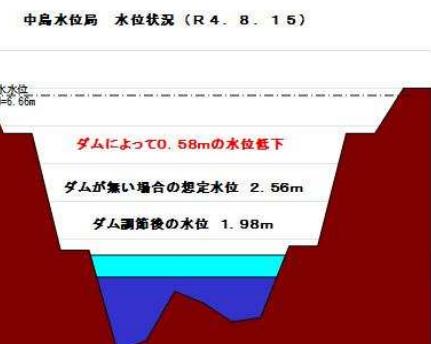
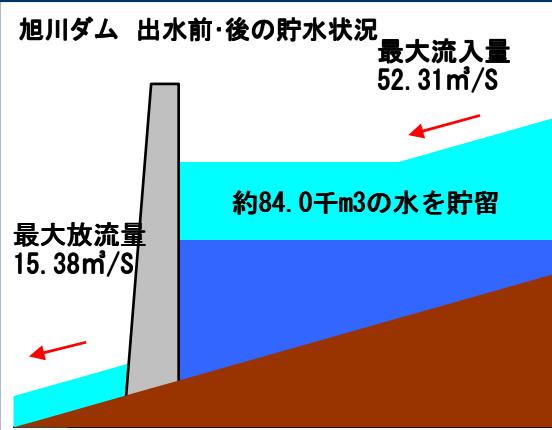
ダムの洪水調節機能(イメージ)



ダムがない場合

流れている100の水は、そのまま下流に流れていきます。

このイメージでは、ダム下流河川に流れる水量は1/5になり、洪水被害を軽減します。



旭川ダムでは、8月15日の「前線(低気圧)による出水」のため、洪水調節を行いました。約84千m³の洪水をダムに貯留し、ダム下流の旭川に流れる水量を少なくしました。

旭川ダムの洪水調節効果【秋田県】(速報)

別紙

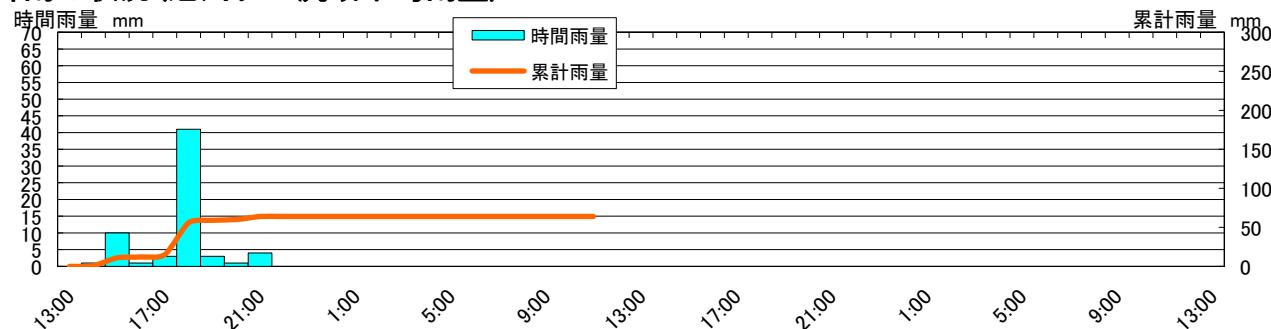
概況

旭川ダムでは8月15日の「前線（低気圧）による出水」のため、洪水調節を行いました。

降雨の状況は、流域平均の最大時間雨量41mm、累計雨量64mmとなり、旭川ダムにおける最大流入量は52.31m³/sまで上昇しました。洪水調節の結果、約84.0千m³の水をダムに貯留し、旭川の水位を58cm下げることができました。

※今後の調査により数値等が変わる場合があります。

降雨の状況(旭川ダム流域平均雨量)



旭川ダム 洪水調節の状況

